

第 29 回レーザーセンシングシンポジウム開催趣意書

実行委員長 金沢大学フロンティアサイエンス機構 岩坂泰信

レーザーレーダ研究会主催の第 29 回レーザーセンシングシンポジウムは、これまでのシンポジウムと同様、ライダーを代表とする様々なレーザーセンシング技術の基礎と応用に関する最新の学術成果の発表、今後の研究企画に関する提案、研究展望など幅広い話題を取り扱っております。

レーザーセンシングシンポジウムは、1972 年に仙台(作並)で開催された第 1 回レーザーレーダシンポジウムにその起源を持っております。また、その時、レーザーレーダ研究会が稲場文男東北大学教授(当時、現在東北大学名誉教授)を会長として組織されレーザーレーダシンポジウムの開催、レーザーセンシング技術の向上と普及に関する活動を開始し現在にいたっております。その後、第 12 回のシンポジウムからレーザーセンシングシンポジウムと名前を変えましたが、シンポジウムは一貫してレーザー技術の基礎と応用に関する様々な研究の成果発表の場、あるいは研究構想の場として機能してきました。今日では、全国のレーザーセンシングに関係する研究者や技術者が集う強力で刺激的なプラットフォームとして名をはせております。

ちなみに前回は、平成 22 年 9 月 9 日・10 日にわたって大津市で開かれ、100 人を越える専門家が参加しております。

その間、レーザーレーダ研究会は 1974 年の第 6 回国際レーザーレーダ会議(仙台)、1994 年の第 17 回国際レーザーレーダ会議(仙台)、2006 年の第 23 回国際レーザーレーダ会議(奈良)を開催するに当たって現地実行委員会の主力構成員として大いに貢献しております。

21 世紀を迎え、社会が学術に求めるものは急速に多様化かつ複雑化してきております。なかでも、環境の保全や安心・安全な社会構築はそれらを貫く重要な基盤概念とされておりますが、レーザーセンシングシンポジウムにおける研究発表にもそのような時代の流れを反映したものも多数みられるようになっております。加えて、将来を見越した様々な研究・調査提案を議論することも本シンポジウムの重要な仕事であります。

今回のシンポジウムでも、これまでと同様にレーザーセンシングにかかわる広い分野の話題を取り上げてゆく予定であり、関係各位のご参加を心よりお待ちしております。

金沢大学は、今年創基 150 年の記念すべき年を迎えており、このような年に金沢大学が中心になって伝統あるレーザーセンシングシンポジウムを石川県に招致できるのは大変幸運なものと実行委員会委員はじめ関係者一同決意を新たにしております。

第 29 回レーザセンシングシンポジウム

主催

レーザレーダ研究会 シンポジウム実行委員会

(第 29 回実行委員長 金沢大学 岩坂泰信)

開催日程・会場

日程:平成 23 年 9 月 8 日(木)、9 日(金)

会場:ホテル海望

〒926-0175 石川県七尾市和倉温泉

電話(0767)62-1515

特別講演 9 月 8 日予定

村本健一郎 金沢大学教授 「雪片の形を見る(仮)」

他一名 候補者検討中

発表形式

口頭発表 発表時間約 10 分、質疑応答約 2 分

ポスター発表 発表時間約 100 分 (ポスターサイズ:ヨコ 72 cm x タテ 101 cm)

特別セッション

金沢大学が重視している環日本海域の環境研究に関連する『金沢大学創基 150 年
記念セッション』(発表講演の選択は実行委員会で行い、発表者に確認します)

共催・協賛団体 (一部予定を含む)

応用物理学会、環境科学会、計測自動制御学会、大気環境学会、地球電磁気・惑
星圏学会、電気学会、電子情報学会、日本気象学会、日本光学会(応用物理学会)、
日本天文学会、日本分光学会、日本リモートセンシング学会、レーザ学会、日本測地
学会

参加費・宿泊費・懇親会費

参加費:一般 12,000 円

学生 2,000 円

宿泊費: 11,000 円

懇親会費: 4,000 円

*参加費には講演要旨集代が含まれています。

*シンポジウムに参加しない同伴者の宿泊も受け付けます(参加費不要)。

受付期間

論文申し込み受付期間 平成 23 年 4 月 12 日～平成 23 年 7 月 26 日

参加申し込み受付期間 平成 23 年 4 月 12 日～平成 23 年 8 月 24 日

原稿提出受付期間 平成 23 年 4 月 12 日～平成 23 年 8 月 8 日

第 29 回レーザセンシングシンポジウムホームページ

<http://www-lidar.nies.go.jp/lss29/>